

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果について

4月19日に小学校6年生、中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。このほど、調査結果およびそのデータ分析がまとめられました。本校の結果をお知らせします。

### 【国語における平均正答率】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)			
			本校	神奈川県(公立)	全国(公立)	
全体		14	71	65	65.6	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	72.4	65.6	69.0
		(2) 情報の扱い方に関する事項	0			
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	78.6	73.2	77.9
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	2	70.2	66.3	66.2
		B 書くこと	2	57.1	47.9	48.5
		C 読むこと	4	75.6	69.5	66.6
評価の観点	知識・技能	6	73.4	66.8	70.5	
	思考・判断・表現	8	69.6	63.3	62.0	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	8	78.0	72.9	71.8	
	短答式	3	65.9	57.4	63.6	
	記述式	3	58.7	50.6	51.3	

### 【算数における平均正答率】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			本校	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体		16	71	64	63.2
学習指導要領の内容	A 数と計算	6	77.8	69.4	69.8
	B 図形	4	70.2	64.9	64.0
	C 測定	0			
	C 変化と関係	4	58.3	53.3	51.3
	D データの活用	3	83.3	69.5	68.7
評価の観点	知識・技能	9	73.8	69.0	68.2
	思考・判断・表現	7	67.7	57.5	56.7
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	6	58.3	53.9	51.8
	短答式	6	83.3	77.0	76.5
	記述式	4	72.0	59.5	60.2

### 【理科における平均正答率】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)			
			本校	神奈川県(公立)	全国(公立)	
全体		17	72	63	63.3	
学習指導要領の内容	A 区分	「エネルギー」を柱とする領域	4	58.9	51.8	51.6
		「粒子」を柱とする領域	5	70.0	59.5	60.4
	B 区分	「生命」を柱とする領域	5	81.9	75.6	75.0
		「地球」を柱とする領域	5	75.2	64.9	64.6
評価の観点	知識・技能	6	65.9	61.8	62.5	
	思考・判断・表現	11	75.5	64.2	63.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	11	74.5	67.7	66.8	
	短答式	3	71.4	64.1	66.2	
	記述式	3	64.3	46.5	47.3	

※一つの問題が複数の区分に該当する場合がありますため、それぞれの分類について、各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

## 全体の傾向

全体の結果として、今年度の本校の平均正答率は、国語・算数・理科の3教科全てにおいて、神奈川県、全国の平均正答率を大きく上回るという結果になりました。教科ごとの結果は、神奈川県の平均に比べ、国語は6ポイント、算数は7ポイント、理科は9ポイント上回りました。

## 国語

「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」の「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」の全ての領域で、神奈川県の平均を上回りました。特に、「話し言葉と書き言葉との違いを理解する」に関する問題では、正答率が92%を超えました。一方で、「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」の記述問題では、33.3%と県の平均(35.5%)を下回りました。

今後も引き続き、記述式の問題に取り組み、指定された字数で自分の考えを書く力を、さらに伸ばしていくことができるように指導を続けていくようにします。

## 算数

「A 数と計算」「B 図形」「C 測定」「C 変化と関係」「D データの活用」のどの領域も神奈川県の平均を上回りました。特に「被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる。」の問題では、95%以上の正答率でした。一方「示された場面のように数量が変わっても割合は変わらないことを理解している」では、正答率が19%と神奈川県の平均(24.2%)を下回りました。

割合についての問題では、図などを活用しながら割合は量が増えても減っても変わらないことを理解できるように指導していきます。

## 理科

「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の全ての領域で神奈川県の平均を上回りました。「問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる」問題では、正答率が100%となりました。一方、「日光は直進することを理解している」問題では、正答率が21.4%となり、神奈川県の平均(27.3%)を下回りました。

理科の授業では、単に知識を身に付けるだけではなく、実験を通して、結果をまとめたり考察をしたりできる力を身に付けられるよう指導していきます。

## 児童質問紙調査より

「自分には、よいところがあると思う」に回答した児童が「①当てはまる②どちらかといえば当てはまる」を合わせて88.1%になりました。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う」に回答した児童が①②を合わせて95.3%となりました。多く教職員が児童のよさを認めることにより、児童自身も自己有用感を味わっていることが分かります。また、「いじめは、どんな理由があってもいけない」と回答した児童が①②を合わせて100%でした。学校としていじめを認めない雰囲気ができあがっていることが分かります。さらに、「人の役に立つ人間になりたい」と回答した児童が①②を合わせて100%でした。自分の将来に向けて前向きに考えている児童が多いことが分かります。

教職員一同、子どもたちのよりよい成長のために引き続き支援していきたいと思っております。